

薬剤ペレット経口投与

強制経口投与（経口ゾンデ）に代わる薬物の安全な投与方法

夜行性動物のマウス・ラットは昼間は眠り、夜間に活動（摂食）をしますが、通常、動物実験の強制経口投与は昼間（点灯時）に行っているのが実情です。薬物効果は如何に適切な時間帯に投与できるかで実験結果に大きく影響を与えます。新開発のペレット経口投与器を使うことで、投与技術は不要となり、動物は活動時間帯に苦痛なく自ら経口摂取を行います。



【特徴】

1. 保定しませんので動物にストレスを与えず、投与ミスありません。
2. 混餌投与と比較して薬物を大幅に節約でき摂取量も明確です。
3. ペレットの作成工程に加熱、溶媒の使用はなく、それによる薬物の劣化、変質はありません。



【ご使用方法】

1. 「薬剤ペレット」をペレット経口投与器の管上部より投入するだけでセット完了です。
2. 投与中も通常の固形飼料を使用します。
3. 投与時は単独飼育です。

薬剤ペレット



薬剤ペレット



●ペレットサイズと重量			
ラット用			
長さ	直径	重量	
10~15mm	6.5mm	200~300mg	
マウス用			
長さ	直径	重量	
7~12mm	4.5mm	120~160mg	

●原材料	
70%	セルロースパウダー
20%	グラニュー糖
10%	魚粉

●投与薬剤と原材料を混合し、1錠単位で計量、圧縮した精密錠剤です。

●殺菌方法：紫外線殺菌（UVラベルによる照射確認記録付）

※小ロットの加工からお引受けしますので、お気軽にお申し付けください。

ペレット経口投与器

（特許第5249456号）



ペレット経口投与器

●仕様

サイズ：全長100mm
 パイプ：ラット用 外径9mm、内径7mm
 マウス用 外径7mm、内径5mm
 受け皿：外径27mm

●材質：ステンレスSUS304

●「食べこぼし」を円形の皿で受け、それを動物自身が食べきります。

●市販のケージトップに取付可能です。